

医学情報の研究利用に関するお知らせ

課題名 大腸癌化学療法 Ramcirumab+FOLFIRI 療法の有害事象・臨床成績調査

JR 九州病院で 2016 年度以降に大腸癌化学療法治療を受けた患者さまについてカルテから情報を抽出し、**Ramcirumab +FOLFIRI 療法**を受けられた患者様について集計します。

目的 当院は大腸癌の手術を行っています。進行再発例に対して化学療法も行っています。**Ramcirumab** は抗 **VEGFR2** (血管内皮増殖因子受容体-2) 完全ヒトモノクローナル **IgG1** 抗体で、進行再発大腸癌の標準化学療法として **Ramcirumab** が **FOLFIRI** と併用され保険収載されて日常臨床において使用されています。**VEGF** (血管内皮増殖因子) が **VEGFR2** に結合して下流に血管新生シグナルを送るのを防ぐことで腫瘍増殖を抑制する働きをすることがされています。当院で施行された **Ramcirumab +FOLFIRI 療法**の有害事象、臨床成績について調査し、当院の治療方法の問題点を把握し臨床成績向上を図ります。

対象 JR 九州病院で 2016 年度以降に **Ramcirumab +FOLFIRI 療法**の化学療法を受けた大腸癌患者さま

調査方法 カルテ情報から患者さまのデータベースを作成します。臨床病理学的因子と血液データなどを入力します。さらに電子カルテでわかる範囲で予後、最終受診歴を把握し、生存分析を行います。臨床病理学的因子が予後因子となるか解析し考察します。

データの保護に関しては個人情報保護法に準じて行い、集めたデータから個人が特定されるような氏名、住所などは一切含まれません。また、研究の結果が発表される場合でも個人を特定できるような内容は一切ありません。

この研究に当てはまると思われる方で、当院に保管されているご自身の診療情報を研究に使わないで欲しい、というご希望があれば、担当医までお申し出いただきますようお願いいたします。

このお知らせは、平成 31 年 1 月 31 日まで院内に掲示いたします。この間に意志表示がなかった方を調査対象とさせていただきます。また、研究への拒否の意志を表明されても、いかなる場合でも不利益はこうむることはありません。

(問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先)

J R 九州病院 外科 各担当医または、研究担当 自見政一郎へ

(TEL : 0 9 3 - 3 8 1 - 5 6 6 1)